

働く人が出資して、
経営も仕事もみんなで
運営する働き方!!

いま地域を拓く

新しい働き方「協同労働」の可能性

学習会 in にいがた

自らが出資し、経営にも参加するという「協同労働」という新しい働き方が注目されています。雇う雇われる関係ではなく、みんなが出資し、経営する「協同労働の協同組合」として、すでに全国では10万人の就労、500億の事業高を生み出し、地域に役立つ仕事おこしと就労創出を目指しています。

また、「協同労働」という働き方への法人格を付与する「協同労働の協同組合」法制化に向けた取り組みもすでにはじまり、全国地方議会の意見書では792議会(7/5 現在)、国会でも180名の超党派の議員連盟が発足し、今国会で法整備がされる動きとなってきました。

私たちは2008年11月に「いま協同を拓く全国協同集会 in 新潟」を開催し、のべ1700名の参加者とともに「協同労働」と「協同」の力で地域再生をすすめるアピールをし、以降「協同労働」の法制化に向けた学習会とあわせて継続した学習会を開催してきました。

そこで、改めて「協同労働の協同組合」とは何か、法制化の動きとともに新しい働き方の可能性を一緒に深め、9月5日に下記内容にて学習会を開催いたします。

地域の再生をはじめ、仕事おこしや失業問題、コミュニティ・ソーシャルビジネス、NPOなどに関心のある方、多くのご参加をお待ちしています。

—内容—

- 協同労働とは何か…全国の実践と可能性、「協同労働の協同組合」法制化に向けて

日本労働者協同組合連合会センター事業団 専務理事 田中 羊子

- 新潟県内の「協同労働」の可能性と期待 ～リレートーク～

- 1、金子 洋二(新潟コミュニティ・バンク)…コミュニティビジネスの実践例
- 2、片桐 公彦(りとるらいふ)…NPOの新たな事業展開と可能性
- 3、高見 優(ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟)…福祉・生きがい・仕事おこしと協同労働
- 4、橋本 典子(NPOワカズゴブ 亀田東児童館)…子育て現場と協同労働
- 5、佐藤 美奈子(労協センター事業団新潟地域若者サポーターステーション)…若者支援現場と協同労働

参加費無料!!
(100名)

平成22年9月5日(日)
1時30分開会(4時30分閉会)

新潟市万代市民会館 403、404 号室

新潟市中央区東万代町9番1号

TEL: 025-246-7711

主催: にいがた協同ネット

後援: 日本労働者協同組合連合会、協同総合研究所

協賛: JA新潟中央会

世話人: /江花和郎(連合新潟)/長崎清一(新潟県総合生協)

/中村昇(新潟県労働金庫)/富沢佳恵(新潟NPO協会)/

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟/日本労働者協同

組合連合会センター事業団

お問い合わせ

申込先(事務局)

TEL 025-224-8823 fax 025-224-8823 e mail niigata-roukyou @snow.plala.or.jp

〒951-8065

新潟市中央区東堀通2-481 丸山ビル3階

労協センター事業団 新潟事業所(にいがた協同ネット)